



9/19

おかげさまで20周年

「四季の森温泉」20周年感謝祭

体験交流センター四季の森（四季の森温泉）の開業20周年を記念する感謝祭が、9月19日から21日まで開催されました。

感謝祭初日は、そるばってん白川ショー（浅尾行人さん 第5駐在）が行われ、本村や高森町から60人が集い、食事や歌、トークショーなどで会場は笑いで盛り上がりました。

支配人の市原和昭さんは、「村内の皆さまをはじめ、多くのお客さまに支えられ、20周年を迎えることができました。これからも、スタッフ一同しっかり頑張っていきます」と話されました。



「そるばってん白川ショー」で賑わう会場

9/21

スポーツ選手には負けません

村内5つの保育所で運動会

9月14日から10月12日にかけて、村内5つの保育所（久木野・白水・長陽・立野・長陽西部）で運動会が開催されました。

9月21日に開催された白水保育所の運動会では147人の園児たちの元気な行進で開幕。誓いの言葉では「にじ組」の安達徠人くんと後藤芽衣ちゃんが、「スポーツ選手に負けないように頑張ります」と元気に宣誓しました。

競技では、10mから80m徒走やダンスがあり、中には泣いたり家族に手を振ったりする園児たちも。あどけない園児たちの姿に運動会は笑いと声援で盛りあがりしました。



保護者が待つゴールを目指して走る園児たち（3歳児40メートル走）

9/15

県民体育祭剣道競技準優勝

第68回県民体育祭天草大会

第68回県民体育祭天草大会の剣道競技が最終日の15日、栖本中学校体育館で行われ、阿蘇郡市チームが準優勝に輝きました。

試合には20チームが出場。決勝戦は、熊本市と熱戦が繰り広げられました。

試合を終え、大将の工藤真寿さん（第四駐在）は、「今年もチーム力で決勝へ進出することができました。初戦から接戦を制し、代表戦までもつれこむなど苦しい戦いでした。2連覇の夢は叶いませんでしたが、来年は必ずリベンジします」と話されました。



準優勝を果たした阿蘇郡市チーム（前列と後列の両端が本村の皆さん）

9/20

死傷者ゼロを目指して

秋の全国交通安全運動出発式

9月21日から始まった秋の全国交通安全運動の出発式が「あそ望の郷くぎの」で開催されました。

出発式では、高森警察署の清水幸也署長が「南郷谷から死傷者を出さないためにも、地域の皆さんと協力連携を取りながら交通事故防止に取り組んでいきたい」とあいさつ。式典後は、村の交通指導員と交通安全母の会が、ドライバー一人一人に交通事故防止のチラシと村職員手作りの「運転は、名水飲んで“わきみず（湧き水）”に!!」の標語を貼った白川水源の水を手渡し、交通安全を呼びかけました。



ドライバーに交通安全を呼びかける交通指導員

9/21~23 下関で阿蘇をピーアール 阿蘇ぼうマルシェ開催

阿蘇郡6町村の温泉や物産をピーアールしようと、シーモール下関専門店街（山口県下関市）で「阿蘇ぼうマルシェ」が開催されました。

これは、本村観光協会の呼びかけで実施されたもので、6町村から温泉旅館組合や観光協会など約90人が参加。会場では、各町村の観光PR事業が行われ、あか牛弁当や、野菜など地元の特産品の販売、そのほかスタンプラリーなどが行われ、白川水源の水500mlも配付されました。

特に人気を集めた地獄温泉をはじめとする6名湯の「指湯」では、体験した人たちから「秋には南阿蘇を訪りたい」などの声も聞かれ、盛り上がりを見せました。



6町村が参加したマルシェ会場

9/26 走る楽しさを学ぼう 南阿蘇西小で体力向上実技指導教室

村陸上記録会を前に、南阿蘇西小学校（日置郁郎校長）の4年から6年生104人が、陸上競技の基礎を学びました。

指導したのは、「ひとづくりくまもとネット健康スポーツ事業部熊本大学陸上競技スクール」の平野龍さん、中満絵美さんと、熊本大学陸上競技部員の4人。文部科学省の「地域を活用した学校丸ごと子どもの体力向上推進事業」の一環で、同校が阿蘇郡市のモデル校として実施。

授業では、走るときの基本姿勢や、速く走るコツを伝授。4年生の山本伊織くんは「ぼくは運動が大好き。陸上記録会はいけそうな気がする」と話してくれました。



専門家の説明を真剣に聞く児童たち

9/21 秋の夜長を満喫 観音桜展望公園で観月会

満月を迎えた21日、観音桜展望公園（第8駐在）で観月会が開催され、村内外から多くの人を訪れました。

観月会は、地元女性で構成する「女子会さくら」が、村の頑張る地域支援補助金を活用して開催したもの。

この日の月はあいにく雲に隠れていましたが、来場者たちはコンサートや、手作りのだご汁、竹かっぽ酒を堪能し、秋の夜長を満喫していました。



賑わいを見せた観月会会場

9/25 100歳おめでとうございます 福原スミエさん（立野）

立野区の福原スミエさんが25日、100歳の誕生日を迎えられ、そのお祝いが特別養護老人ホーム「陽の丘荘」で行われました。

お祝いでは、長野村長が表彰状と記念品を贈呈。「さらに健康に注意して、まだまだ頑張ってください」とお祝いの言葉を送りました。

福原さんは、大正2年生まれ。毎日、新聞を欠かさず読むことと、天真爛漫な性格が健康の秘訣だそうです。

福原さんは「自分でも、あきれています。ありがとう」と涙を浮かべて喜ばれていました。



100歳の誕生日を迎えられた福原スミエさんと親族のお二人。



9/29 **阿蘇の魅力を発信**
ASO 世界農業遺産マルシェ開催

阿蘇が世界農業遺産に認定されたことを記念してASO 世界農業遺産マルシェ（同実行委員会主催）があそ望の郷くぎので開催されました。

これは、世界農業遺産認定の普及啓発と村の魅力を発信することを目的に、村の「頑張る地域支援補助金」を活用して行われたもの。

オープニングでは、代表の鈴木高男さん（両併二）が「今日は、阿蘇の野菜を楽しんで、阿蘇を考えてもらえば」とあいさつ。会場には、農産物や手作り加工品などが販売され、ステージでは小野副知事をはじめ阿蘇の農業者たちが阿蘇や農業の魅力をアピールしました。



多くの人が訪れたマルシェ会場

9/27 **平和の誓い新たに**
戦没者追悼式

本年度の戦没者追悼式がホテルグリーンピア南阿蘇で行われ、戦没者の遺族や関係者約170人が参列しました。

式典では、参列者一人一人が献花台に花を手向け、長野村長が「国民一致して国を守るとともに、戦争を絶対繰り返してはならない、この決意と努力が尊霊に対しせめてもの慰め」とあいさつしました。

遺族代表謝辞では、村遺族会会長の荒牧仁さん（第四駐在）が、「明るく豊かな郷土南阿蘇を築きあげるため、より一層の努力と戦争の悲惨な教訓を後世に伝えていきたい」と述べられました。



献花台に花を手向ける参列者

10/1~14 **村全体が美術館**
南阿蘇村2013谷人たちの美術館開催

村全体を美術館と見立てた「南阿蘇村2013谷人たちの美術館」（同実行委員会主催）が今年も開催され、村内外から多くの人が村を訪れました。

美術館は、作家の自宅やギャラリーなど村内の47カ所が開放され、絵画や木工、陶芸、草木染などの作品展示や、体験講座も行われました。

長野地区で粘土細工を行う甲斐かよ子さんの「バアバの粘土」では、赤や青、紫など色彩豊かな小花の作品を展示。甲斐さんは、訪れた人たちに、作り方や色の出し方などを説明。会話にも花が咲いていました。



色とりどりの小花の作品（バアバの粘土）



瓶の中には懐かしさ漂う駄菓子屋の風景（色花 SHIKIKA）



プロパンガスボンベを再利用した「燻製器」（ASO ギャラリー） 米袋を再利用して作った壁掛け（上）やバッグ（下）（塙庵）

10/4 おかげさまで10周年 長陽パークゴルフ場

長陽パークゴルフ場が開場10周年を迎え、記念の大会が開催されました。

同ゴルフ場は、平成15年10月、村民の健康増進を目的に旧長陽村が整備。5つのコース（45ホール）を備えています。現在は、指定管理者として有限会社ちょうようむら（松野裕治社長）が運営を行っています。

開会式では、松野社長が「今後も、パークゴルフを通して交流の輪を広げてください」と、あいさつしました。

この日は、県外からの参加者35人を含む215人が秋晴れの中をプレー。参加者には、「長陽パークゴルフ場」と記されたボールが配られました。

同ゴルフ場の昨年度の利用者は3万人を超え、開場以来26万7千人が利用しました。



開会式であいさつする松野社長と参加者の皆さん

10/6 優勝旗を持ちかえります 久木野中ソフトテニス部優勝

阿蘇郡市中学ソフトテニスの新人戦が小国町林間広場で開催され、団体の部で久木野中学校ソフトテニス部が3年ぶりの優勝を果たしました。

現在、同校ソフトテニス部は10人の部員で、1日2時間の練習に励んでいます。

優勝した喜びを部長の菊池詩穂さん（2年生）は、「学校に優勝旗を持ち帰る気持ちで試合に臨みました。入団している部員のためにも必ず勝とうと思いました」と、うれしそうに話してくれました。

11月には阿蘇郡市代表として県大会に出場するソフトテニス部。今後の活躍が期待されます。



優勝旗を手に満面の笑みの久木野中ソフトテニス部の皆さん

10/1 村内小学生が練習の成果を発揮 村陸上記録会開催

村陸上記録会（村小学校体育連盟主催）が久木野小学校グラウンドで開催され、村内5つの小学校の4年から6年生296人が日ごろの練習の成果を発揮しました。

開会式では、大会会長の中松小学校 合志正輝校長が、「隣の学校の友だちの素晴らしい姿を見て、自分の力を磨いてください」とあいさつ。選手宣誓では、白水小6年生の金本凌空くんが「練習の成果を十分発揮したいです」と元気に述べました。

児童たちは、各学校で色違いの鉢巻をつけ力走、会場は声援で賑わいを見せました。



ハツラツとした選手宣誓をする白水小の金本凌空くん

10/5 老体に鞭打って頑張ります 第9回 村福祉運動会開催

第9回村福祉運動会が白水体育館で開催され、大会開催以来最多となる約890人の選手（満60歳以上）と、関係者合わせて約1,000人が参加しました。

開会式では、大会会長の長野敏也村長が「今日は60点くらいの力で、ゆっくりケガのないよう楽しんでください」とあいさつ。選手宣誓では、栃木区の桐原静男さん、モヨさん夫妻が、「老体に鞭打ち元気に楽しく頑張ります」と述べられました。

競技は、ボールリレーやパン食い競走など全7種目が行われ、参加者たちは笑顔ながらも真剣な表情で1位を競い合っていました。



パンが口に入らず四苦八苦の参加者たち（パン食い競走）



10/7 中松小児童 プロの劇団と共演 白水中校区で巡回公演

白水中校区（中松・白水・両併）の小・中学生を対象にした劇団の巡回公演が、白水中中学校体育館で開催されました（文化庁 次代を担う子どもの文化芸術体験事業）。

公演は、劇団「らくりん座」の「おこんじょうりり」。中松小学校の児童52人も共演し、キツネや狸犬、やまびこ役を生き生きと演じました。

公演を終えて6年生の内田朝日くんが、「皆さんの声の大きさに驚きました。何もわからない私たちに一から教えてくださりありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。



生き生きとした演技を披露する中松小の児童たち

10/6 ペタンク念願の初優勝 第2回「ねんりんピック2011熊本」メモリアルペタンク大会

第2回「ねんりんピック2011熊本」メモリアルペタンク大会が和水町で開催され、南阿蘇Cチームが初優勝しました。

大会には、九州内から41チームが出場。本村からは、4チーム12人が出場しました。

現在、本村ペタンク協会の会員は20人で、中松ペタンク場（中松一）で日々練習に励んでいます。

優勝の喜びを会長の高宮幸生さん（中松一）は「優勝できたのも毎日練習を頑張る皆さんのおかげ。女性の方がもっと参加してくれたら」と話されました。



優勝したCチーム（左から市原誠成さん・高宮幸生さん・高宮勝さん）

10/10 庁舎統合に向け委嘱状交付 南阿蘇村庁舎統合に関する有識者委員委嘱状交付式

村3庁舎の統合に伴う有識者委員委嘱状交付式が久木野庁舎で行われ、長野村長から委嘱状が手渡されました。

選任されたのは、熊本大学の牧野雄二名誉教授、建築学科 位寄和久教授、社会環境工学科 北園芳人教授、熊本県住宅建築センターの岩下修一専務理事、高木富士川計画事務所 高木淳二代表の5人。

交付式では、長野村長が「村にとって何が一番良いのか先生方の提言をいただきたい」とあいさつしました。

今後、庁舎統合に向けて、有識者による専門的見地から審議が行われます。



長野村長から委嘱状を手渡される熊本大学牧野名誉教授

10/11 生の音楽のすばらしさを感じて 南阿蘇西小学校いきいき芸術体験教室

南阿蘇西小学校で「Viento」コンサートが開催され、オカリナやシンセサイザーなどを使って7曲が演奏されました（県教育庁 いきいき芸術体験教室）。

開会では、日置郁郎校長が「生の音楽を通して阿蘇や音楽の素晴らしさを感じてほしい」とあいさつ。楽器体験も行われ、児童6人が民族楽器を使い、Vientoの二人と映画の主題歌「もののけ姫」を演奏しました。

終了後、6年生の相馬廉さんが「私はピアノを習っています。これからは心をこめて弾きたい」とお礼の言葉を述べました。



楽器体験を楽しむ児童たち